



3年学年だより

発行日:令和6年7月19日(金)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:星野 浩 NO.4



中学1年生学年合唱



MINAMI

力を合わせる

校長代理 中澤 務

7月12日(金)に合唱コンクールが開催されました。会場は昨年に続き横浜みなとみらいホールでした。あいにく朝から小雨が降っていましたが、附属中学生の皆さんは時間を守って横浜美術館前に集合し、横浜みなとみらいホールまで列を崩すことなく整然と移動していました。

今年のテーマ「一響入魂」のもと、生徒の皆さんはクラスや学年の仲間、さらに周年行事合唱団の仲間と協力して、精一杯練習してきました。そしてその成果をステージで存分に発揮していました。それぞれの発表ごと、会場は大きな拍手に包まれました。さまざまな協力や努力を重ねてきたことが、鑑賞する人にしっかり伝わったことが伺えました。昨年も感じたことでしたが、高校生の合唱はどの発表も真剣に取り組んでいる迫力がありました。そしてアピールタイムも最高に楽しめました。アピールタイム、みんなで考えて一生懸命練習したんだろうな…仲間って、協力するって、やっぱり素晴らしいですね。

文化委員の皆さんがこの大きな行事の準備を丁寧に進めてくださいました。6学年の生徒が集う会場で、当日の運営はことさら大変だったと思います。バックヤードで、あるいは審査員席の近くなどで、インカムで連絡を取り合いながら文化委員が忙しく仕事に取り組む姿を、生徒の皆さんも見られたかもしれません。朝早く集まって準備をはじめ、全校生徒が解散しても会場に残って後片付けをしてくれました。南高・南高附属中の仲間と合唱できる喜びは、そうした人たちに支えられてきたからこそ味わえるものなのだ、ということも改めて感じました。文化委員の皆さん、本当にお疲れさまでした。そして生徒の皆さん、合唱コンクールを迎えるまで、定期テストや部活動などもあって、忙しかったと感じた人も多かったことでしょう。仲間と力を合わせてきた皆さんの取り組みすべてに拍手を送ります。ありがとうございました。

閉会式では星野校長から合唱コンクールが横浜みなとみらいホールで行われるようになった経緯について説明がありました。学年の生徒だけの参加で南高ホールを会場に行われていたが、全校の生徒で鑑賞できるように関内ホールで行うようになり、さらに保護者の皆さんにも観ていただけるようにと横浜みなとみらいホールを会場に行うようになった、とのことでした。今年度は9月に横浜武道館で周年行事を、そして3月には横浜 BUNTAI で南高祭体育祭の部を行います。横浜市の素晴らしい文化施設を使うことができるのも保護者の皆さまのご協力あってのことです。保護者の皆さまのお力添えに改めて感謝いたします。

夏休みを迎えます。休みに入ってから英語集中研修があり、1年生は選択 EGG があります。行事を通して高めた仲間との協力の姿勢を続け、こちらも楽しく参加してほしいと思います。長期の休みなので様々な計画があるかと思いますが、熱中症や水の事故に十分に気をつけて、健康に過ごしてください。8月27日(火)の二学期の始業式で元気な姿を見せてくれることを願っています。

素晴らしい歌声!!

7月12日（金）横浜みなとみらいホールで合唱コンクールが行なわれました。音楽科の先生に多くの指導を頂きながら、日々の練習を積み重ねた結果、本番ではそれぞれのクラスが個性ある素敵な合唱をホール内の隅々までに響かせることができました。きっとここまでの歌声を創り上げるためには、多くの苦勞もあったかと思います。だけれどもクラスの仲間と切磋琢磨をし、一つの合唱を一緒に創り上げたことは素敵な思い出となり、さらには大きな達成感を得られた経験になったのではないかなと思います。そして附属中最高学年としての素晴らしい姿を、後輩や保護者の方々にも魅せられたのかなと思います。合唱コンクールでの経験をこれからの生活に生かしていきましょうね。

先生から、各クラスへ講評をいただきましたので紹介します。

1組「十字架の島」(学年優勝) 指揮： (指揮者賞)、伴奏：



クラス全体でこの難曲に挑み、本番でその集大成を感じる事の出来たまとまりのある合唱でした。冒頭はインパクトがありうまく表現されていました。「隠し持っていた♪」は大変素晴らしく、心に伝わってきました。中間部の讃美歌が安らぎを感じる響きを与え、コーダへ向かう短調から長調へ変化する個所では、物語の背景と共にエンディングへと加速する歌唱表現がとても素晴らしく、印象的に作品をおえることの出来た合唱でした。

2組「ひとつの朝」 指揮： 、伴奏：



美しいメロディと言葉が丁寧に合わさり、表現された大変心地よい合唱でした。冒頭部分の「今、目の前に♪」モチーフをはっきりと聴くことができました。「たとえば涙~♪&さかまく~♪」の場面は聴いている側に染み入る感情が湧きました。また「旅立ち~♪」のフレーズは大変素敵に響きました。「さあ!」は素晴らしく希望を感じさせる表現でした。男声は元気で女声は美しい印象のクラス合唱でした。

3組「青鷺」 指揮： 、伴奏：



物語の根底にある奥深い意味を表現することに努力していたと思います。冒頭のピアノのアルペジオから歌に入る物静かな部分からの表現がよくできていました。声質も揃っており、一つ一つの言葉も丁寧に歌われ、音楽創りに一体感がありました。練習を積み重ねた姿がうかがえました。テンポ感も文句なくダイナミクスも素晴らしく表現されていました。また、この曲の特徴である繰り返しによる歌詞の響きが、折り重なるよう頂点へ向かって進んでゆこうとする様を十分に感じる事が出来た合唱でした。

4組「消えた八月」 指揮： 、伴奏： (伴奏者賞)



曲の持つ映像的で抒情的な場面を十分に伝えられた合唱でした。表現の難しい曲に取り組み、苦労を重ねていたと思います。冒頭の「あつい〜♪」は雰囲気を感じるすべりだしてでした。「光にうたれて・風にふかれて♪」のテンポ感等、表現や速度変化の工夫を曲の中で十分に活かし、本来の楽曲のイメージにたどり着いた合唱でした。言葉の意味を深く感じ、大切に歌っていた姿勢に好感がもてました。

みちをの独り言

11期生のみなさん、素晴らしい合唱コンクールをありがとうございました。繊細で、力強いその歌声から、練習を積み重ねてきた日々や合唱コンクールへの熱い気持ちが感じられ、嬉しくも誇らしくも思いました。改めて文化委員をはじめ、指揮者の人、伴奏者の人、それぞれのパートを引っ張ってくれたリーダーの人、そして頑張った自分たち、本当にお疲れ様でした。お互いにその頑張りをたたえ合って欲しいなと思います。

また私の拙い三線にも、温かい気持ちで盛り上がってくれてありがとうございました。高校生のアピールタイムのときも思いましたが、人の頑張りを温かい笑顔で受け入れる心は本当に素敵だし、素晴らしい魅力だなと思います。そんな心は何歳になってもずっと大事にしていってくださいね。

合唱コンクールを支えてくれた文化委員さん！

1組： 、

みなさん、合唱コンクールお疲れ様でした。中学校最後の合唱コンクールでしたが、悔いのない良い合唱にすることができたでしょうか。コンクールなので順位はついてしまっていますが、みんなが全力を出し、1つのものに取り組むことが合唱コンクールの大切なことだと思います。体育祭直後の6月1日から練習が始まりましたが、当初はどのクラスも苦勞していたのではないのでしょうか。1組では、元々「十字架の島」は第一候補ではなく、曲も約7分と長いこともあり、本当にうまくいくのか不安でした。それでも指揮者・伴奏者を中心に練習し、徐々に形ができていき、最後は全員が1つになることができたと思います。来年は高校生になり、大きく形も変化しますが、みんなで協力して頑張っていきましょう。

2組： 、

合唱コンクールお疲れ様でした!!2組は「ひとつの朝」を歌いました。練習が始まってからすぐは、全員音を取るのに苦戦していました。それでも、クラスでの練習回数が増えてくると、練習開始から2週間後には、見違えるほど上手になっていきました。満を持して迎えた合唱コンクール当日、2組は3年生内のトップバッターとして、みなとみらいホールのステージに上がりました。今までにないベストの歌声をホールに響かせることができましたが、優勝には1歩届きませんでした。それでも、クラス全員で一致団結して優勝を目指していたことには変わりありません。全員で頑張れた良い合唱コンクールにできたと思います。今まで練習、お疲れ様でした。次は、南高祭、団結力をいかして頑張っていきましょう。



3組： 、

合唱コンクールお疲れ様でした!3組は「蒼鷺」を歌いました。我らが担任 先生(黒塗り)の燃え盛る熱意により、どのクラスよりも練習の士気が高かったと思います。満を持して迎えた本番では、3年生の中の3番目にステージに立ちました。これまでクラスで力を合わせて創り上げてきた音色を、全力でみなとみらいホールに響かせることができました。結果は、望んでいたものではなく、惜敗となりました。しかし、本番までの過程は優勝だと思います!練習の際、中心となって動いてくれた指揮者・伴奏者の方、そして 先生(黒塗り)、ありがとうございました。そして何よりもクラス全員が力を合わせて合唱できたこと、最高でした!南高祭でも、一致団結して全力で取り組みましょう!

4組： 、

合唱コンクールお疲れ様でした。練習し始めた時は、合唱コンクールまでに歌を仕上げられるか不安で、自分自身も文化委員経験が無かったため、とにかく大変でした。しかし、先生方の指導や皆のやる気のおかげで、ラスト一週間に怒濤の追い上げを見せて、合唱コンクールを安心して迎えることができました。本番の合唱は今までで一番上手にできて、優勝の文字が見え隠れしていたのですが、一組の方が数枚上手でしたね。ですが、私は皆で協力して合唱を完成させられたことがとても良いことだと思いました。来年は、高校生として初めての合唱コンクールです。中学生のときには無かったアピールタイムや自由曲などを楽しめたらいいと思います。